

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-516113(P2008-516113A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535262(P2007-535262)

【国際特許分類】

E 0 2 D 27/52 (2006.01)

A 0 1 K 61/00 (2006.01)

B 6 3 B 35/00 (2006.01)

【F I】

E 0 2 D 27/52 Z

A 0 1 K 61/00 V

B 6 3 B 35/00 T

B 6 3 B 35/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブロックで固定された垂直スラストを有する水中浮き基盤を強固かつ安定にするために、前記基盤の上側部分、又は、前記基盤の上側部分および下側部分の両方にチェーンまたはパイプを配置することを特徴とする方法。

【請求項 2】

ブロックで固定された垂直スラストを有する水中浮き基盤に対して起こりうる水平移動を停止させかつ無効にさせて安定性をもたらしために、海底上に配置される底部錘に対角線に配置される鋼チェーンを使用して取り付けることを特徴とする方法。

【請求項 3】

ブロックで固定された垂直スラストを有する水中浮き基盤の下に釣り合い錘を配置し、それによって構造体全体の重心をその回転中心より下に移動させ、前記構造体の回転および転覆を生じさせる可能性のある、起こりうる外力を避けかつ無効にさせることを特徴とする方法。

【請求項 4】

水中浮き基盤の上に位置するように、円筒または浮きタンクを前記基盤に固定することを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、

前記浮きタンクが電解槽用の収容容器であることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の方法であって、

前記釣り合い錘に結びつけられ、水素の貯蔵用に使用される電解槽を含む貯蔵器を、前記基盤の下に据付けることを特徴とする方法。

【請求項 7】

海底より下の砂の中に埋められ、粗石および砂によって満たされた水中中空本体に基盤を垂直かつ対角線で連結する適切な鋼ケーブルまたはチェーンを使用して、前記基盤を固定することを特徴とする方法。

【請求項 8】

魚を養殖するための水中籠から作られ、海面上の浮きにロープまたはチェーンで固定された、栽培漁業用の水中浮き施設を建設することを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の方法であって、
引っ張り可能なロープまたはチェーンを使用して前記水中籠を浮きに取り付けることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の方法であって、
前記浮きを海底の底部錘にロープで固定することを特徴とする方法。

【請求項 11】

水中に単一の多目的設備を作り出すために、水中浮き基盤を定位置に保持する底部錘に浮きを連結させることを特徴とする方法。

【請求項 12】

風力タービンを保持する塔用の支持基台として使用されるブロックで固定された垂直スラストを有する水中浮き基盤を、前記基盤上に配置される水素の製造用の施設、および前記基盤の下に配置される水素貯蔵用の施設と組み合わせ、

さらに前記基盤およびその構造体全体を海底に固定し、

かつ、栽培漁業用に使用される籠をロープまたはチェーンを使用して保持する浮きを取り付けるために前記底部錘の使用と組み合わせることを特徴とする方法。